アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.151/2019 年(令和元年)9 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第151号をお届けします.

【1】ソサイエティ大会開催AP関連報告

電子情報通信学会ソサイエティ大会が、9月に大阪大学豊中キャンパスで開催され、AP研一般公演としては143件の講演がありました。依頼シンポジウムとして「5Gに向けた基地局・端末アンテナの試験・測定技術の最新動向」がAMT研究会が担当して実施され、非常に多くの参加者にご参加いただき活発な議論が行われました。また、AP研と他研専共催シンポジウムとして「異分野融合で切り開く情報通信技術に関する研究の新領域」、「海中における電磁波利用（通信、制御、給電、センシング)」が開催されました。一般セッションとして開催されたAP研シニアセッションでは、AP研顧問宇野亨先生からの貴重な御講演をいただくこともでき、若手研究者だけでなく現役の研究者の方々にも有益な講演となったと思っております。多くの方々に御講演をいただき、また、御参加いただいて、活発に御議論等できたことに感謝いたします。今回のソサエティ大会では、AMT研委員長笹森教授が論文の書き方講座を実施されるなど、多方面でのAP研関係者の貢献も目立った貢献としてございましたことを合わせてご報告いたします。

【2】 9月研究会報告

9月の研究会は, 9月20日(木)～21日(金)にJAXA宇宙科学研究所相模原キャンパスにて開催されました。今回の研究会は、AP研、MW研、IEEE AP-S Tokyo Chapter 共催,IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter協賛での開催でした。2日間で合計20件の発表がありました。AP研歴史委員会特別講演として、AP研顧問高野忠先生から「宇宙科学研究所における大型展開アンテナR&Dの歴史」というタイトルで御発表いただきました。IEEE AP-S Tokyo Chapter 特別講演としてJAXA前田崇氏から「GCOM-W AMSR2後継ミッションで求められる衛星搭載マイクロ波放射計の空間・温度分解能向上のための検討　」というタイトルで講演いただきました。MW研招待講演としてJAXA照井冬人氏から「はやぶさ2の小惑星Ryuguへのタッチダウンとクレータ形成」というたいとるで講演いただきました。TVでも放映された「はやぶさ2」の映像などを交えた講演でした。AP研チュートリアル講演して千葉工業大学の中林寛暁氏から「機械学習の伝搬損失推定への応用 ～ 伝搬モデルをつなぐ架け橋 ～」というタイトルで講演いただきました。今話題のAI、AP研で検討が開始された電波伝搬データベースにも関連する講演として、非常にホットな話題の講演でした。現地世話役のJAXA牧氏をはじめとするJAXAの方々MW研究会の方々には、会場設営などを含め多大なご尽力をいただき、多くの参加者で開催することができましたことを感謝したいと思います。

【3】 今後の開催案内

1種研としては, 10月17日～18日大阪大学、11月20～22日佐賀大学、12月12日機械振興会館にて開催されます. 10月27～31日には、中国西安にてISAP2019が開催されます。AP研陳委員長のご出身地でもあり、多くの歴史的建造物がある街とのこと、皆さまのご参加を期待いたします。

【4】 副委員長の戯言

9月のAP研関連行事としては、ソサイエティ大会と9月研究会の2回の開催となり、非常に多くの発表者と参加者で有意義な大会と研究会だったと感じています。しかし、ソサイエティ大会でのAP研発表件数は、年々減少しております。2020年にオリンピックが日本で開催されると同時に、5Gと呼ばれる新しい次世代携帯電話通信も開催されますので、今後の大会、研究会ではAP関係者からの大会での発表件数が200件を超えるほど活気に満ちたオリンピックイヤーにな

ることを期待したいと思います。ソサイエティ大会では、AP研独自の取り組みとして最近取り組んでいる一般セッションでの「シニアセッション」や「英語セッション」があり、非常に多くの聴講者がありました。顧問の宇野亨先生からのダイアディックグリーン関数に関する発表などは、若手の研究者の大きな刺激になったのではないでしょうか。私の個人的な希望ですが、AP研顧問の先生方の貴重な講演を通常の研究会や大会で実施していただく機会を増やして、若手研究者の活性化にご尽力いただくことが、AP研の今後の世界的な発展にもつなげていけるとよいと思います。

JAXAで開催された9月研究会での講演では、はやぶさ２の地球からの無線コントロールの話が印象的でした、ここにも、AP研の技術が貢献できているのだと実感することができました。

私事ですが、ソサイエティ大会が開催された大阪には、10年弱住んでいたため、梅田や十三等なじみの深い場所に行くこともできて、懐かしく感じました。来年のISAP2020も大阪開催に決定しています。今後AP研関係者の方々は大阪方面に行く機会が多くなると思います。関西方面のAP研関係の方々の活性化にも寄与できるとよいですね。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　黒川　悟（AIST）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!!　登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/